



2019年3月29日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』

累計導入台数5万台突破

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）およびSOMPOリスクマネジメント株式会社（社長：布施 康、以下「SOMPOリスク」）が提供する企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の累計導入台数が、2019年2月末に50,000台を突破しましたのでお知らせします。

1. 『スマイリングロード』の概要

『スマイリングロード』は、IoT関連技術の活用によりドライバーの継続的な安全運転意識の向上を促進し、管理者の効率的な指導を支援することで、事故防止に貢献する業界初の企業向けテレマティクスサービスとして2015年3月に提供を開始しました。

ドライバーの運転状況が「見える」「わかる」機能に加え、ドライバーを「ほめる」機能の相乗効果により、導入初年度の事故件数は全体で約20%削減しており、高い事故削減効果を実証しています。

2018年12月には、ドライバーの「一時不停止」「踏切不停止」「最高速度オーバー」「通行禁止箇所進入」が発生した可能性のある地点を地図上に表示し、日時・状況等とあわせて、随時、管理者にお知らせする「うっかり運転検知機能」を搭載しました。

提供開始から約4年が経過し、2019年2月末時点で、累計導入社数は1,350社・導入台数は50,000台を突破しました。

2. 日本郵便株式会社様でスマイリングロード導入決定（2019年秋導入予定）

損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクは、日本郵便株式会社様が全国で展開する事故防止活動について、各種講習やモニタリングなどで後方支援をしてきました。

今般、ドライバーの走行データを活用した、より効果的な事故防止活動を目的とし、日本郵便株式会社様が保有する四輪車両の一部（約13,000台）に『スマイリングロード』を導入いただくこととなりました。

今後は、『スマイリングロード』で取得する各種データも活用し、日本郵便株式会社様における事故ゼロへの取組みについて、一層の支援をしていきます。

3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクは、『スマイリングロード』をはじめ、先進技術や保険会社ならではのビッグデータ、自社で培った事故防止のノウハウ、そしてお客さまの声を活かしたサービスを提供し、安心・安全な社会の実現に引き続き貢献していきます。

以上